

令和6年5月15日

プレスリリース



代表取締役社長 中山正子

キタックは BIM/CIM 導入を推進し 建設業界の働き方改革に貢献します

～社内・社外向け研修カリキュラムの整備～

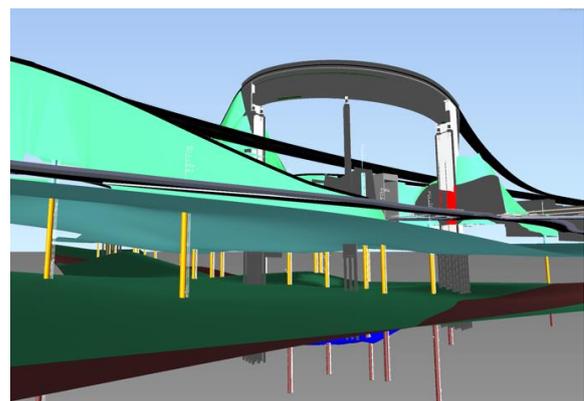
総合建設コンサルタントの株式会社キタック（新潟市 代表取締役社長：中山正子）は、国土交通省が i-Construction（ICT 等活用による生産性向上）の一環として奨励する BIM/CIM の活用に取り組んでいます。BIM/CIM の導入は建設業界の生産性向上、関係者間の情報共有・合意形成の効率化など、多くのメリットがあります。

キタックでは **2023 年度に社内研修制度を新設し、独自の学習カリキュラムと社内資格認定制度を構築しました。**本年度はこの取り組みを拡大し、**協力会社向けにも研修を展開します。**当社だけでなく、協力会社を含む社外にも BIM/CIM について理解を深めていただくことで、連携強化や品質向上だけでなく、建設業界全体の生産性向上や働き方改革等に貢献します。

・ BIM/CIM（ビム/シム・Building/Construction Information Modeling, Management）

建設事業における各種情報を 3 次元モデルに結びつけて利活用することを BIM/CIM と呼びます。具体的には、計画、調査、設計段階から 3 次元モデルを導入することにより、その後の施行、維持管理の各段階においても 3 次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることを目的としています

参考：[BIM/CIMポータルサイト | 国土交通省 \(nilim.go.jp\)](http://nilim.go.jp)の内容を一部編集



画像:バイパスと、その下の地質を表現した 3 次元モデル。当社は地質部分を担当しました

キタックの BIM/CIM 研修制度の特徴

- BIM/CIM の実務活用経験のあるキタック社員が講師となります。
- 実務的な内容が強みです。ソフトの操作方法だけでなく、BIM/CIM の役割や基本概念を理解し、業務を遂行することができる「コーディネーター」を育てます。

講座や実習による計 38.0 時間のカリキュラムを通し、BIM/CIM の基本的な概念から、実務に活用できるソフトの操作方法などを学習します。2023 年は中堅社員を中心に 12 人が受講しました。

また、キタックでは独自の社内資格制度「BIM コーディネーター」ランク 1～3 を設定し、合格者に資格を付与しています。



キタックの BIM/CIM 活用の実績

- ・地質 CIM モデル構築
 - ・3次元モデルに施工ステップという時間軸を加え、4次元モデル化
 - ・災害発生時の対応の迅速化
- などに取り組んでいます。

【報道関係の方からのお問い合わせ】

株式会社 キタック

総務部 広報企画課：計良（けら）

TEL：025-281-1111 / Mail：kera_sayaka@kitac.co.jp